

サイエンスキャッスル 2019 九州大会 報告

※第一薬科大学はサイエンスキャッスルのパートナー大学です

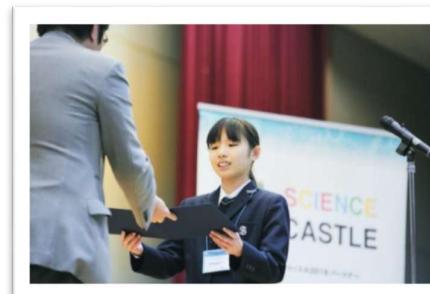


2019年12月8日に、熊本県立第二高等学校でサイエンスキャッスル2019九州大会を開催しました。開催にはそれぞれ12件の企業パートナーと大学パートナー、2件の企画パートナーからご協力をいただきました。当日は熊本、長崎、佐賀、福岡、大分、宮崎、鹿児島の九州7県に加え、山口、愛媛、広島、兵庫の計11県32校より70演題の発表があり、当日は総勢365名が参加しました。

午前は 70 件のポスター発表を実施しました。47 件のポスター審査対象に対して 14 名のポスター審査員が審査を行いました。その結果、サイエンスキャッスル最優秀ポスター賞は、明治学園中学高等学校の「ジャンボタニシの畜産飼料としての利用可能性」に授与されました。また、パートナー企業・大学、および企画パートナー等による 9 件のブース展示が行われました。午後は 12 件の口頭発表を実施しました。5 名の口頭発表審査員によって審査が行われ、サイエンスキャッスル最優秀賞は、宮崎県立宮崎北高等学校 科学部 1 年 ハクセンシオマネキ班の「ハクセンシオマネキのシグナル～画像解析と信号処理～」に授与されました。口頭発表の後の特別講演では、KM バイオロジクス株式会社 中村将吾 氏にご登壇いただきました。

サイエンスキャッスル九州大会は、参加学校数や発表演題数、企業パートナー、大学パートナー数の増加など、各所との連携が年々強くなっています。これからも連携を広げ、学校、企業、大学の研究活動の加速化のために邁進して参ります。

第一薬科大学賞(愛光高等学校)



パートナー大学

